



# 私の終活



死を見つめた時  
生き方が見えてきた  
【練習本】

はこび天舟

## 終活に思う

---

自分で言うのも憚れるが、70歳という年齢の割には頑張っていると思う。

いつだって前向きだし、チャレンジャーだ。

水泳に頑張っている

カラオケにも積極的に頑張っている

作家を目指して頑張っている

未だに夢を追いかけているねと言われる。

でも、夢には違いないが何かが違う・・・

最後の時に悔しがるのは嫌だから

旅立ちの時、悔やまなくてもいいようにしているだけだ

最後の時、この身体は煙突の煙と共に空へと還るだろう

でも、心は燃え尽きない

今やっていることは、心の葬式をやっているんだと思った

心を燃やし尽くそうとしているだけなのである

そう気が付いたら、腑に落ちた。

2017年5月1日月曜日

## 頑張っているのかな？

---

70歳になって市民プールに通い始めた。

理由は高齢者優遇で無料になったからである

有料で600円出していた時は、もったいないからプールに何時間もいた。

そのうち体力に限界を感じて行かなくなった。

無料になってからは1時間だけ利用するということができるようになった。

目標は、飛び込みと3000メートルを泳ぎきることだ。

目標設定には理由がある。

いつか溺れている人を見つけた時、颯爽と飛び込んで助けたいと思ったからだ。

子供の頃に何度も見た夢がある

海辺で遊んでいて、大切な人（誰だったのかは定かではない）が溺れた。

それを見ていた私は、縄を探したり、泣き叫びながら助けを求めている。

結局は助けることなく、悲しみのあまり泣きながら目を覚ました。

こんな夢を何回も見た。

それ以来、自分が泳げないことが頭から離れなかった。

60歳になった時、高齢者水泳教室を見つけた。

長年の夢を果たそうと思って通った。

まだ仕事をしていたために、自然に遠縁になってしまった。

70歳になった時、再び挑戦を始めた。

前に覚えた時に、1度だけ1000メートルを泳いだ。

ガムシャラにやったら泳げただけだ

それで、正しく泳がないとできない3000メートルを目標にした。

悪夢から解放される日を楽しみにして頑張っている。

2017年5月1日

## 60歳でカラオケデビュー

---

最近はカラオケに夢中?になっている

65歳を過ぎた頃から始まった。

それまでやらなかったのは、声の音域が狭くて歌える曲がなかったからだ。

会議で歌う「君が代」ですら高い箇所の声が出ない。

しかし、朗読練習を始めてから音域が2音上がり、歌えるようになった。...

いままで歌えなかった曲が歌えるようになった。

メリージェーンを原曲キーで歌える?ようになった。

60歳はまだ成長期なのである。

## 私の終活

<http://p.booklog.jp/book/114534>

著者：はこび天舟

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/hakobi/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/114534>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト